

平成29年度 平和中学校グランドデザイン (学校経営構想図)

学校の教育目標 自立と社会貢献 ~深く考え 正しく判断し たくましく行動する生徒の育成~

多治見市の方針と重点

- ◎子ども一人一人が自己充実感をもつ教育の推進 [重点]
- 開かれた学校の理念に立った学校目標の具現
- 人間性・社会性を磨き、専門性を高める研修
- 一人一人に「生きる力」をはぐくむ指導

めざす学校の姿

- 安全で安心して学べる学校
- 明るくて活気のある学校
- 基本的な学習・生活習慣が身についている学校
- 教科指導力、生徒指導力、学級経営力がある教員のいる学校
- 家庭や地域と共に取り組む学校

生徒の実態 [○よさ、◆伸ばしたい点]

- やり方が分かれば、行動できる生徒が多い。
- 仲間や地域社会に貢献できる生徒が多い。
- ◆自ら規律ある生活ができる。
- ◆主体的に活動できる。
- ◆好ましく深い人間関係を築ける。

めざす教師の姿 (研修)

生徒、家庭、地域に信頼される教師

- <研修の重点>教科指導力、生徒指導力、学級経営力を高める具体的手立てをもつ。
- 豊かな人間性と飽くなき理想を追求し、生徒のために全力を注ぐ教師
 - 自己の専門教科に誇りをもち、教科指導力を研ぎ、実践的指導力を高める教師
 - 生徒の言動に素直に感動し、積極的に関わる教師
 - 生徒理解と積極的な教育相談に努め、好ましい人間関係を培う生徒指導力を磨く教師
 - 全体像を掴み課題に正対しポジティブに課題解決に向かい、学校経営に参画する教師

めざす生徒の姿

地域社会人として行動し、進んで社会貢献する生徒

- <教科等指導の重点> 主体的に追究し、仲間と課題解決できる意欲と態度を育てる。
- 規範意識をもち、ものごとを正しく判断して行動できる生徒
 - 基礎基本が定着し、思考力・判断力・表現力のある生徒
 - 学級や全校の諸活動に積極的に取り組み、自己の役割に責任をもってやり抜く生徒
 - 思いやりの心をもち、仲間のために行動し、助け合い、高まり合う生徒
 - 進んで学校や地域で、社会貢献活動を行い、充実感がもてる生徒

学校経営の重点

自立に向け、社会性 (規範意識、向上心、創造性、人間関係づくり) を高める。

自分を磨き、仲間と磨きあい、社会に貢献できる場を工夫し、一人一人が自立し、地域と共に生きる学校づくりに努める。

- ◇自分を磨く<規範意識の醸成> ◇仲間と磨きあう<向上心、問題解決能力の向上> ◇地域で磨きをかける<好ましい人間関係の構築>
 <<合い言葉>> 「規律」「磨く」「社会貢献」「品格」

◇自分を磨く<規範意識の醸成・学力向上>

- やり切る力、継続する力、挑戦する力
- チャレンジタイムと家庭学習等による基礎基本の定着
- ねらいの明確化と確実な評価 (始めと終わり)

◇仲間と磨きあう<向上心、問題解決能力>

- 平和中4本柱を軸に学級を活性化 (向上心)
- 達成感、充実感を感じる活動の工夫 (創造力)
- 部活動による人間関係の構築

◇地域で磨きをかける<好ましい人間関係の構築>

- 他者評価による意欲化
- 地域人材を活用し、共に活動する機会の創設
- 感謝の心を表す活動 (自己有用感の体感)

生徒会活動

「誇りと伝統」づくり 平和中4本柱の定着

- ◎各委員会キャンペーンを軸にした学級の活性化
- ◇合唱「学級文化の創造」
- ◇挨拶「さきがけ挨拶」
- ◇掃除「無言+MOVE掃除」
- ◇時間「ノーチャイム」「2分前着席・活動」
- ◎地域と共に (ボランティア参加・地域貢献)

学級のプライドづくり

「人との関わりの心地よさを知る学級指導」

- ◇一つの問題を解決することの心地よさの体感
- ◇仲間と共に取り組む安心・安全な学校づくり
- ◇所属感、自尊感情・自己有用感の醸成
- ◇新たな誇りづくり

【校内研究】主体的に取組み、仲間と共に課題解決に取り組む生徒の育成

部活動の充実

「秩序と活気のある部活動」好ましい人間関係の構築

- ◇朝部活による体力の向上 (朝部活強化週間)
- ◇好ましい人間関係の構築 (指導者-先輩-後輩)
- ◇正義感あるれる学校の雰囲気醸成
- いじめ防止 教育相談
- ◇連帯意識の構築